

東社協 東京都介護保険居宅事業者連絡会

FAX ニュース

vol. 13

送信元

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
福祉部 高齢担当

TEL:03-3268-7172 FAX:03-3268-0635

E-mail : kourei@tcsw.tvac.or.jp

HP:http://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/zigyousya.html

◎このニュースは、東社協 東京都介護保険居宅事業者連絡会の会員事業所である居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、介護予防サービス事業者等のみなさまに東京の高齢者在宅福祉・介護に関する最新の動向、各会員の取組み、会員向けの研修会やイベントをお届けします。

ニュース

社会保障審議会が2018年度介護報酬を答申

[2018年度介護報酬の報酬単価]

1月26日、社会保障審議会介護給付費分科会(田中滋・分科会長)は第7期(2018~2020年度)の介護報酬改定について、厚生労働大臣の諮問を了承し、社会保障審議会(西村周三・会長)の答申がおこなわれました。今後、パブリックコメントの募集が予定されています。詳細は厚生労働省HPトップページ「政策について」→「審議会・検討会等」→「社会保障審議会/介護給付費分科会」で検索し、「第158回社会保障審議会介護給付費分科会資料」の資料1「平成30年度介護報酬改定の主な事項」、資料2「介護報酬の算定構造」で確認してください。概要の説明は、参考資料1になります。

[「生活援助ヘルパー」の新研修]

訪問介護の改定では、介護福祉士等は「身体介護」を担い、「生活援助」は現行研修(130時間)未満の新研修で、「担い手の拡大」をすることになりました。すでに厚生労働省は委託事業で、新カリキュラムの試行研修を終え、実証事業を実施中と報告しています。訪問介護は“機能分化”されますが、「生活援助」の報酬単価は、介護福祉士と新研修修了者を分けず“同様”とされています。

(市民福祉情報オフィス・ハスカップ 小竹雅子)

※社会保障審議会の傍聴などに基づくメールマガジン「市民福祉情報」の無料配信、介護保険に関するセミナー、電話相談等を行っている市民福祉情報オフィス・ハスカップの小竹雅子さんが在宅福祉をめぐる最近の動向・施策をわかりやすく解説します。

Pick UP~わたしの街の会員事業所~

小金井あんず苑通所リハビリテーション
(小金井市)

当事業所では、介護が必要になった方々が自宅や施設にこもることなく、自信をもって在宅生活を継続できるよう、ご利用者の皆様の状態に合わせた生活リハビリとして外出企画を実施しています。例えば、軽度失語症の方が自分でタクシーを呼ぶ、レストランで注文をする体験や、スーパーでの買い物をするなど企画は様々です。身体の機能回復だけではないリハビリも大切にしています
(責任者 生駒佳子)



連絡会からのお知らせ

役員イベント・研修会等をご案内!

平成29年度第2回総会開催!
~テーマは介護報酬の改定と在宅介護~

2月20日に第2回総会を開催します。講演では、「平成30年度の介護保険の報酬改定」をテーマに解説や今後の在宅介護における展望についてそれぞれのゲストからお話いただきます。

終了後、今回初の試みとして懇親会を開催します。都内の事業者がゆるやかにつながりながら、お互いの取組みについて情報交換ができる場となっています。この機会にぜひご参加ください。

▼会員 対象

2月20日(火) 13:30~17:00 家の光会館(飯田橋)	第2回総会(講演会) 講演1 「2018年度医療・介護同時改訂 運営面における影響と介護保険制度の行方」 ※制度改正解説 青木 正人さん(株式会社ウェルビー)
	講演2 「これからの医療・介護~同時改定後を見据えて~」 ※制度から見る今後の展望 中村 秀一さん (国際医療福祉大学大学院 副大学院長/ 元厚生労働省 老健局長)
3月27日(火) 19:00~21:00 BASE POINT(西新宿)	CLUB POPCORN 定例ミーティング ※若手福祉・介護職員の活動の場